

2016 年度（平成 28 年度）前期終了時点電子工学科 1 年生向けアンケート結果

本アンケート結果は 2016 年前期・電子工学一般において 1 年生の皆さんに回答していただいたアンケートを集計したものです。アンケートへのご協力ありがとうございました。ここでは、アンケートの結果および電子工学科からの教員側からの返答をまとめました。是非最後まで読んでみてください。

1. あなたはなぜ芝浦工業大学電子工学科に進学しましたか？

図 1 に問 1 の回答分布を示します。

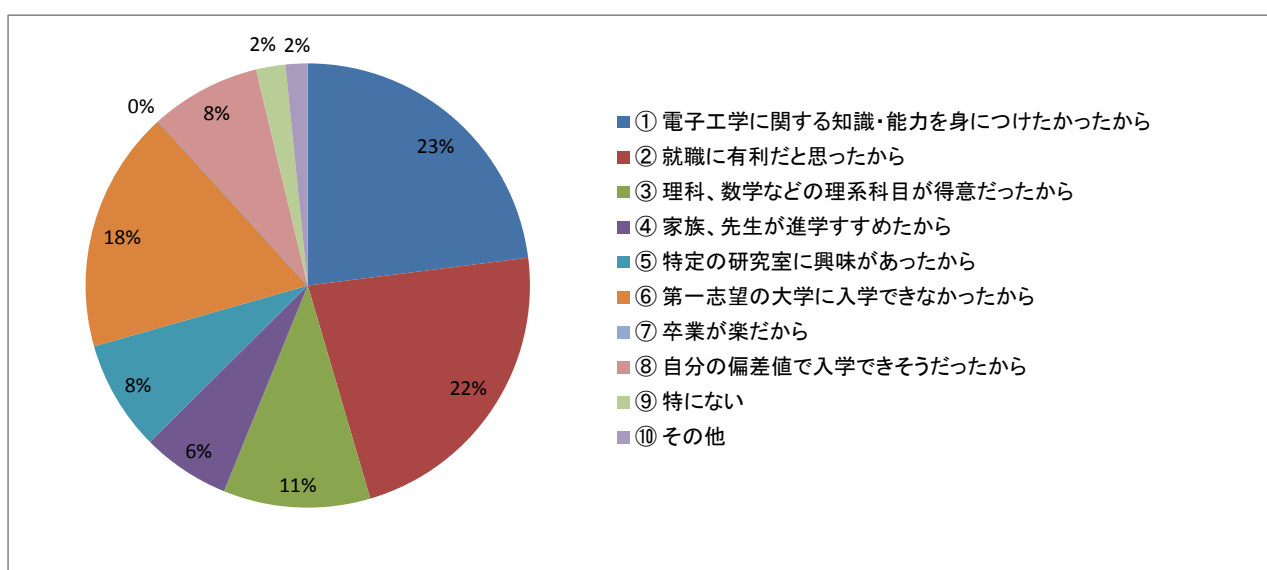


図 1. 問 1 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが芝浦工業大学電子工学科に進学を選んだ理由を調べるためのものです。

[積極的な理由]

“①電子工学に関する知識・能力を身につけたかったから”、“②就職に有利だと思ったから”、“③理科、数学などの理系科目が得意だったから”の合計：56%。昨年度の 57%と同程度。“⑤特定の研究室に興味があった”が 8%あり、研究に力を入れる本学科としては大変うれしく思います。研究分野は、材料、回路、ロボット、生体と多岐にわたります。自分の目指す道を模索して、講義を受けるモチベーションをどんどん高めていってください。

[消極的な理由]

“④家族、先生が進学をすすめたから”、“⑥第一志望の大学に入学できなかったから”、“⑧自分の偏差値で入学できそうだったから”の合計：32%。昨年度の 33%と同程度。

2. あなたが受験する大学を選択した際、参考にした情報源は何ですか？

図2に問2の回答分布を示します。

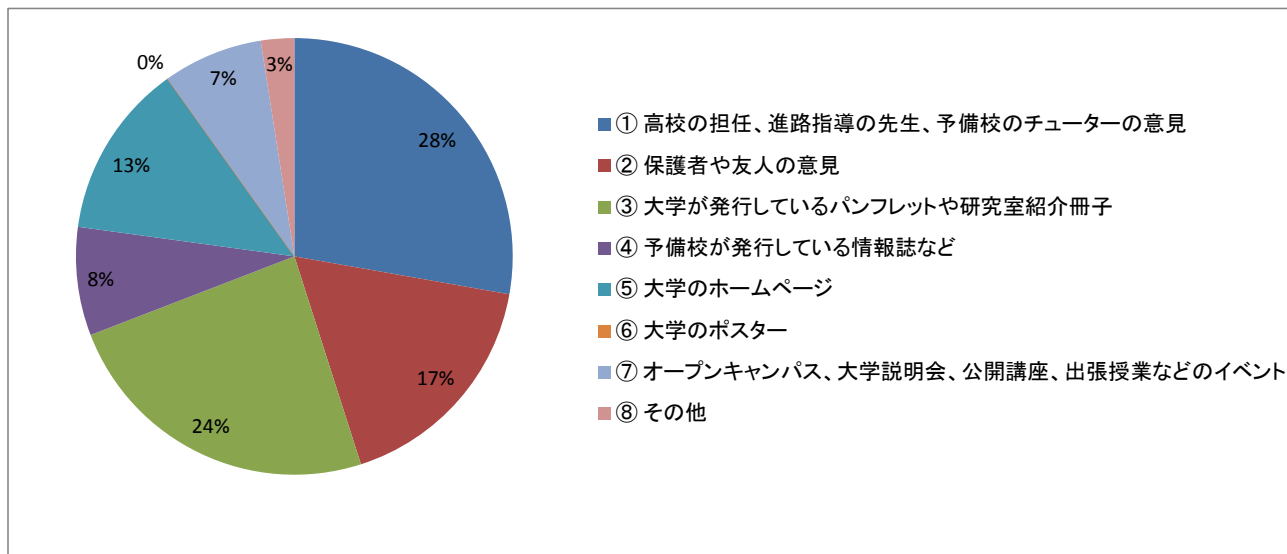


図2. 問2の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学を選ぶ際に、参考にした情報源を調べるためのものです。“①高校の担任、進路指導の先生、予備校のチューターの意見”が最も多かったです。次いで“③大学が発行しているパンフレットや研究室紹介冊子”でした。紙冊子は重要な情報源であることが伺えます。そして、“②保護者や友人の意見”、“⑤大学のホームページ”、“⑦オープンキャンパス、大学説明会、公開講座、出張授業などのイベント”でした。割合は若干異なりますが、これらは昨年度と同じ順番でした。

3. あなたが受験する大学を決める上で、最も重視した項目はなんですか？一つだけ選択してください。

図3に問3の回答分布を示します。

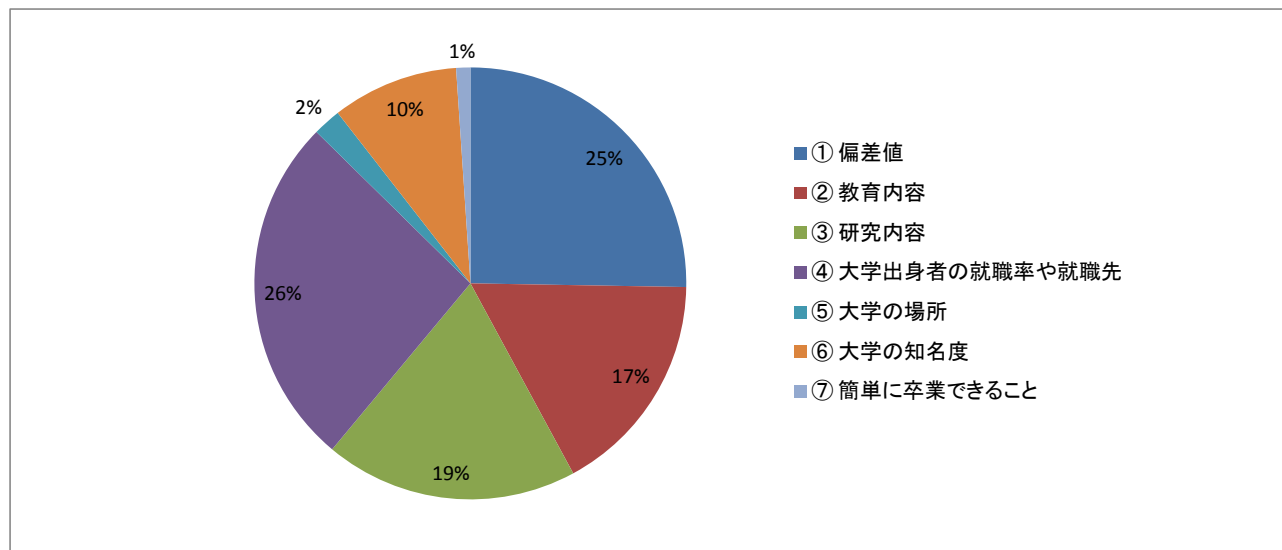


図3. 問3の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学受験の上で重視した点を調べるためのものです。“④大学出身者の就職率や就職先”は27%と最も多かったです。次いで、“①偏差値”、“②教育内容”、“③研究内容”となっていますが、昨年度より①、②、③全て3~5%多くなっています。本学科では水準の高い魅力的な教育を提供しており、また研究により深く取り組むための大学院もあります。是非、進学も視野に入れて欲しいと思います。

4. あなたはいつ芝浦工業大学を進学先として意識しましたか？一つだけ選択してください。

図4に問4の回答分布を示します。

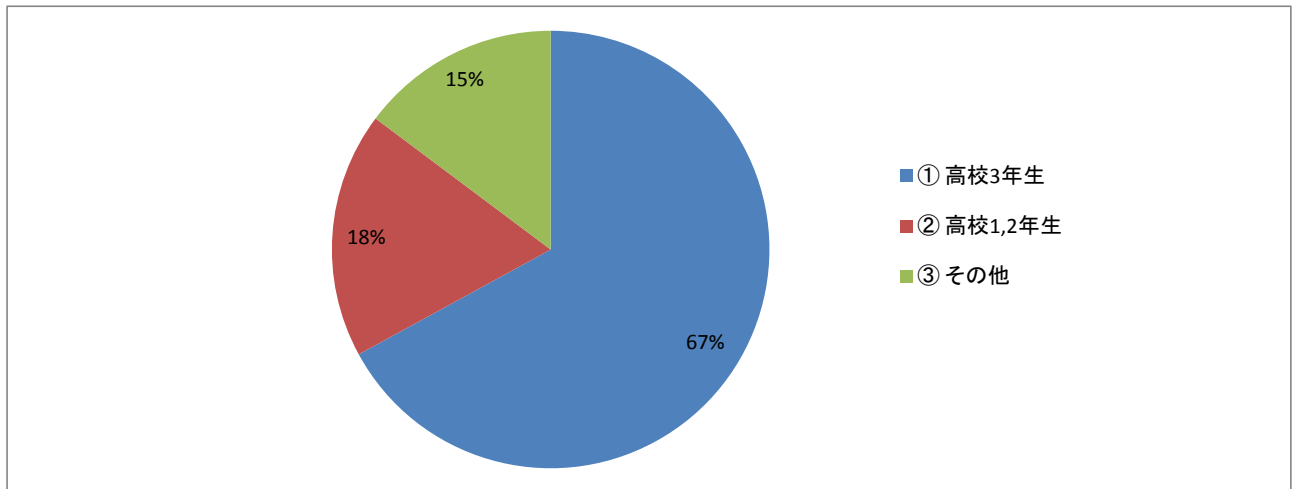


図4. 問4の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんがいつ芝浦工業大学を進学先として意識したかを調べるためのものです。ほとんどの人が“①高校3年生”と回答しておりました。昨年度より6%減っていますが、7割近いのは同じでした。多くの方が直前に意識しています。

5. あなたが大学の勉強で最も修得していきたいと考えていることは何ですか？一つだけ選択してください。

図5に問5の回答分布を示します。

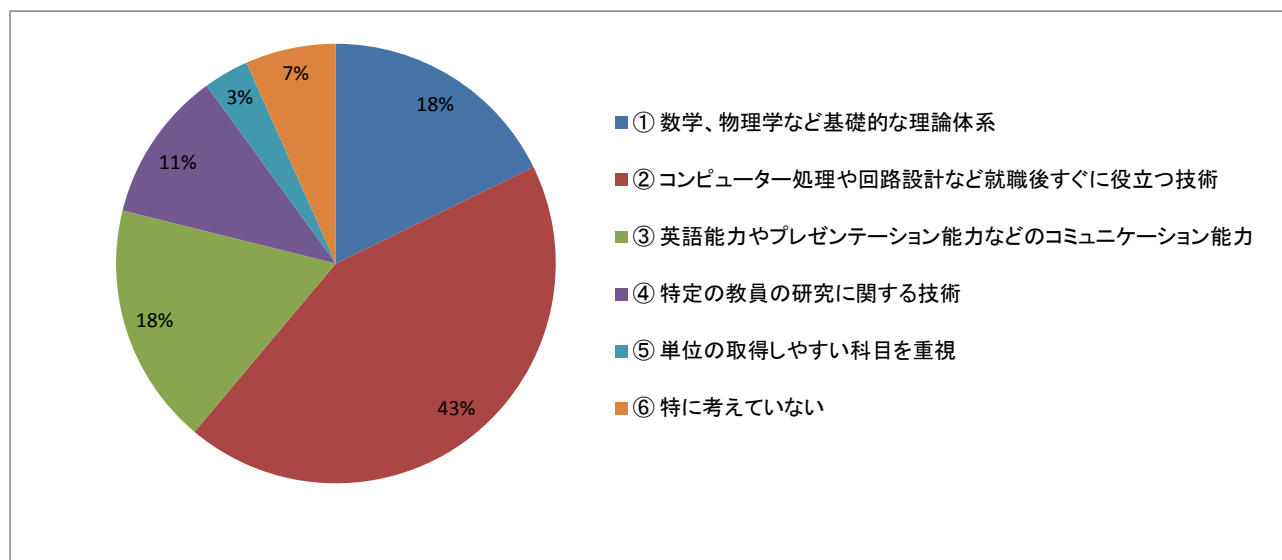


図5. 問5の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学で何を学ぼうとしているのかを調べるためのものです。最も多いのが“②コンピューター処理や回路設計など就職後すぐに役立つ技術”でした。皆さんの“電子工学科のイメージ”や就職を強く意識しているものと思われます。次いで、“①数学、物理学など基礎的な理論体系”、“③英語能力やプレゼンテーション能力などのコミュニケーション能力”でした。③について、本学ではスーパーグローバル大学創成支援事業に採択され、通常の留学に加え、海外での問題解決型授業の短期留学の機会が多くなっています。是非利用してもらえればと思います。この後は“④の特定の教員の研究に関する技術”が11%でした。特定の研究に興味を持って勉学に励むのも良いことです。なお、上位②、①、③の割合は昨年度とほぼ同じでした。

6. 本学科では3年次の電子工学ゼミナールという科目の履修の際に、事実上の研究室配属が行われますが、その事を知っていましたか？

図6に問6の回答分布を示します。

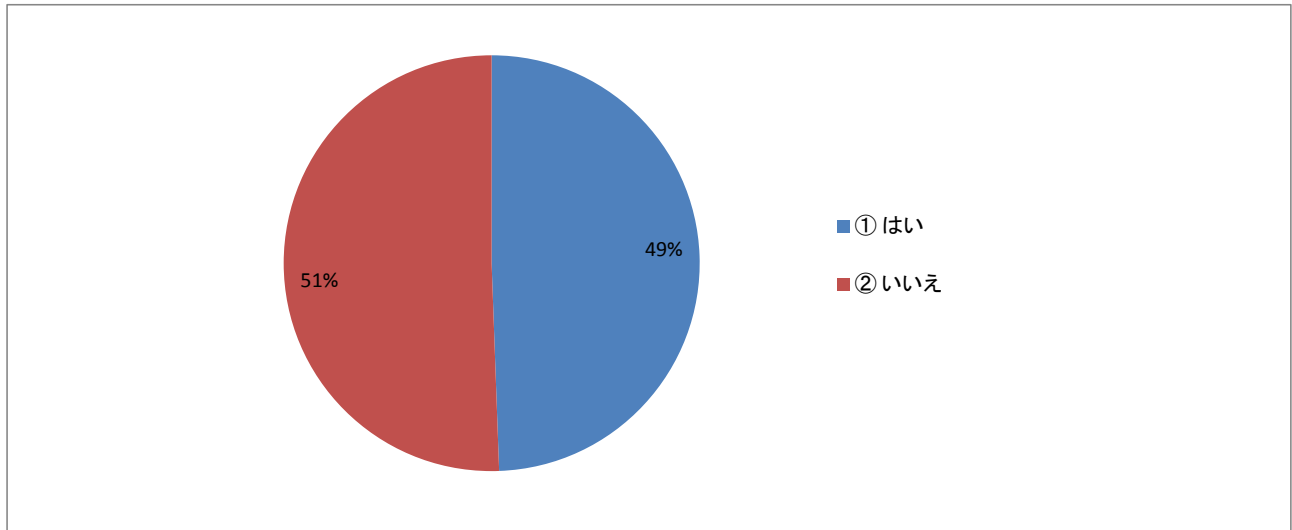


図6. 問6の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが卒業研究を行う研究室配属についての意識を調べるためのものです。51%の方が知らなかったと回答しています。ガイダンス資料を見直し、今後の予定をしっかりと把握しましょう。卒業研究は学部での学びの集大成として4年次に行うものです。3年後期電子工学ゼミナールでは、事前に卒業研究内容に触れて準備をすることで、より充実した卒業研究にして欲しいという意図があります。卒業研究内容によって就職先が制限されることはありませんので、できるだけ興味あるテーマで行うことが望ましいです。普段から自分の興味を意識し、3年前期終了までに方向性を決めておきましょう。

7. 研究室を決める上で、重視しようと考えていることはありますか？ 一つだけ選択してください。

図7に問7の回答分布を示します。

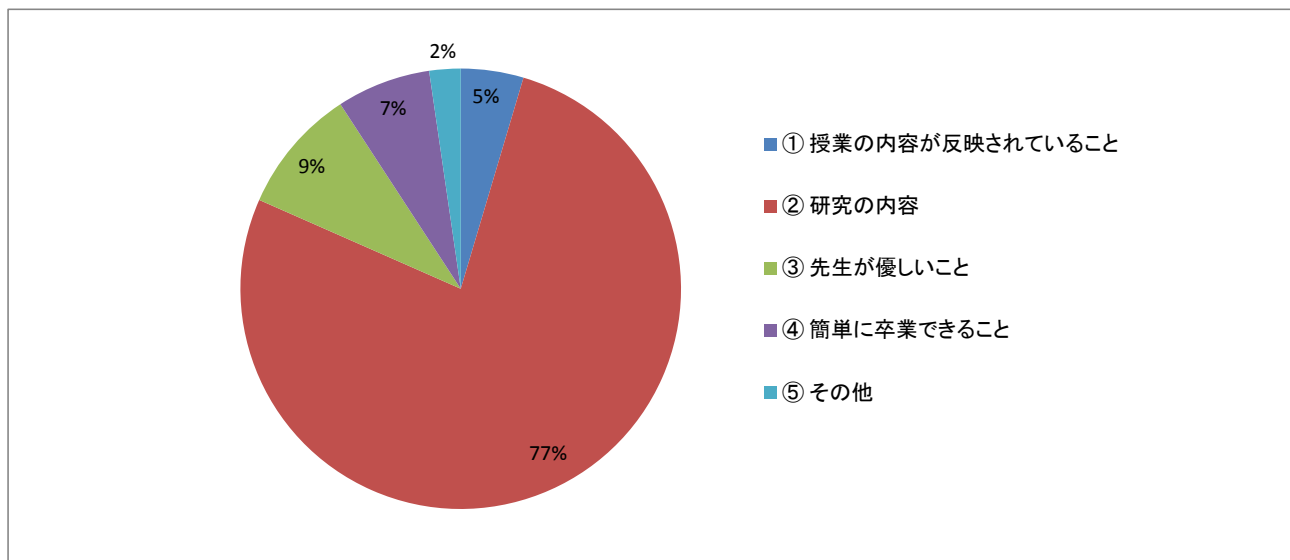


図7. 問7の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが卒業研究を行う研究室について何を重視して選ぶつもりかを調べるためのものです。ほとんどの方が“②研究室の研究内容”を選択しており、正しい意識を持っています。卒業研究は学部での学びの集大成として4年次に行うものです。また、卒業研究内容によって就職先が制限されることはありませんので、少しでも興味あるテーマで行うことが望ましいです。

8. 本学には大学院があり、修士課程や博士課程を修了することで修士や博士の学位を取ることができます。その事を知っていましたか？

図 8 に問 8 の回答分布を示します。

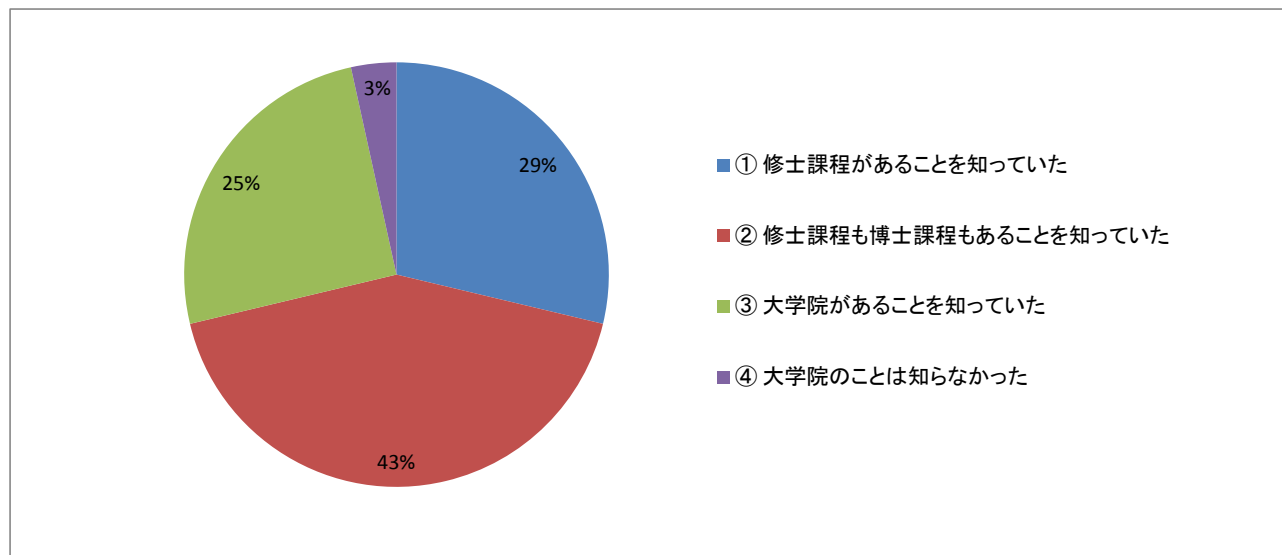


図 8. 問 8 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学院の存在をどの程度知っているか、また進学についての意識を調べるためのものです。ほとんどの方が大学院の存在を知っており、また、修士課程と博士課程の両方についても 43%の方が知っていました。大学院ではより高度な研究を行ったり、より高度な知識を学んでいます。就職率も高くなっています。大学院進学も学部卒業後の選択肢の一つとして考えてみてはいかがでしょうか。

9. あなたは大学卒業後の進路について、現在どのように考えていますか？ 一つだけ選択してください。

図9に問9の回答分布を示します。

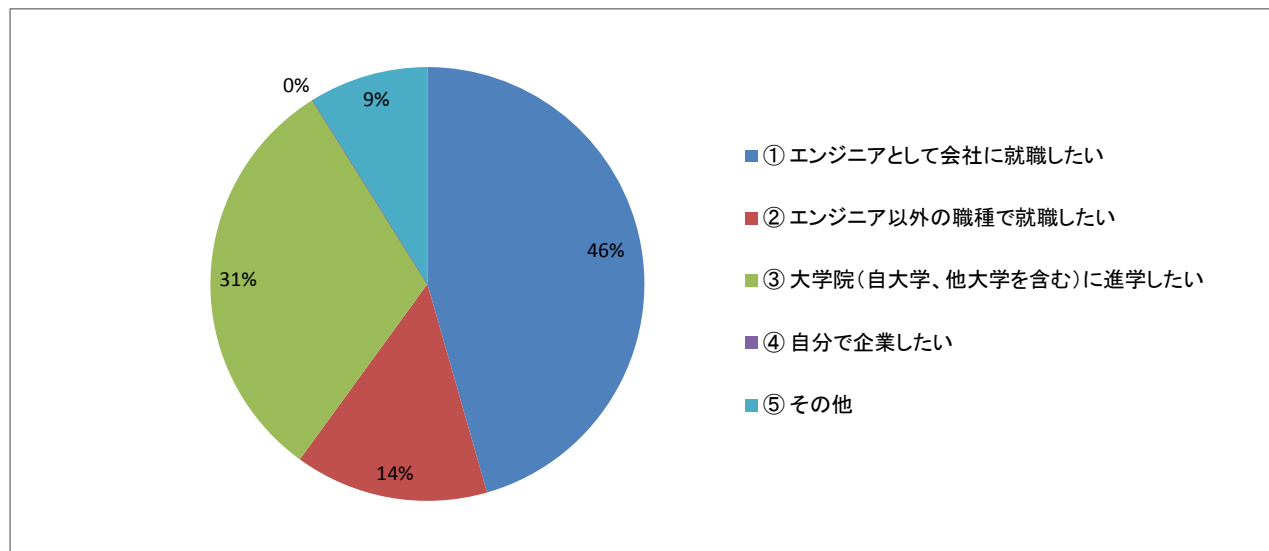


図9. 問9の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学卒業後の進路についての意識を調べるためのものです。最も多いのが“①エンジニアとして会社に就職したい”でした。①と“②エンジニア以外の職種で就職したい”を含めると60%の方が就職希望となっています。一方、“③大学院(自大学、他大学を含む)に進学したい”が31%と、昨年度の22%と比べ9%も増えています。研究に力を入れる本学科としては大変うれしく思います。就職でも進学でも、みなさんの希望が叶うように、今のうちからしっかり学んでいきましょう。

10. あなたが職業を決める上で、最も重要であると考えているものは何ですか？ 一つだけ選択してください。

図 10 に問 10 の回答分布を示します。

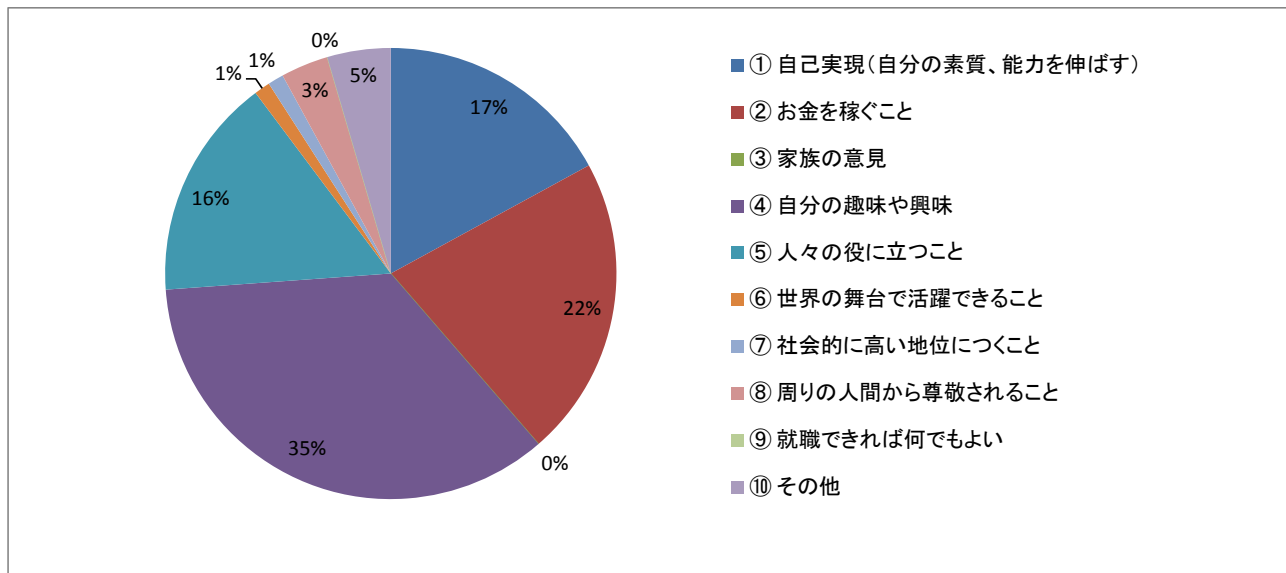


図 10. 問 10 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが職業を選ぶ際に何を重視するのかを調べるためのものです。本年度は“④自分の趣味や興味”が35%と最も多く、昨年度の23%より12%増えました。次いで、“①自己実現”、“②お金を稼ぐこと”となっています。①と②の割合は減りましたが、④、①、②の割合が多いのは昨年度と同様でした。

その他、目を引くのが“⑤人々の役に立つこと”が16%と、昨年度の11%より5%多くなっていることです。まっとうな仕事は、人々の役に立つことを基本としています。社会人になってもこの思いを持ち続けて欲しいと思います。

11. 就職時に必要なもの、または大事なものは何であると思いますか？ 一つだけ選択して下さい。

図 11 に問 11 の回答分布を示します。

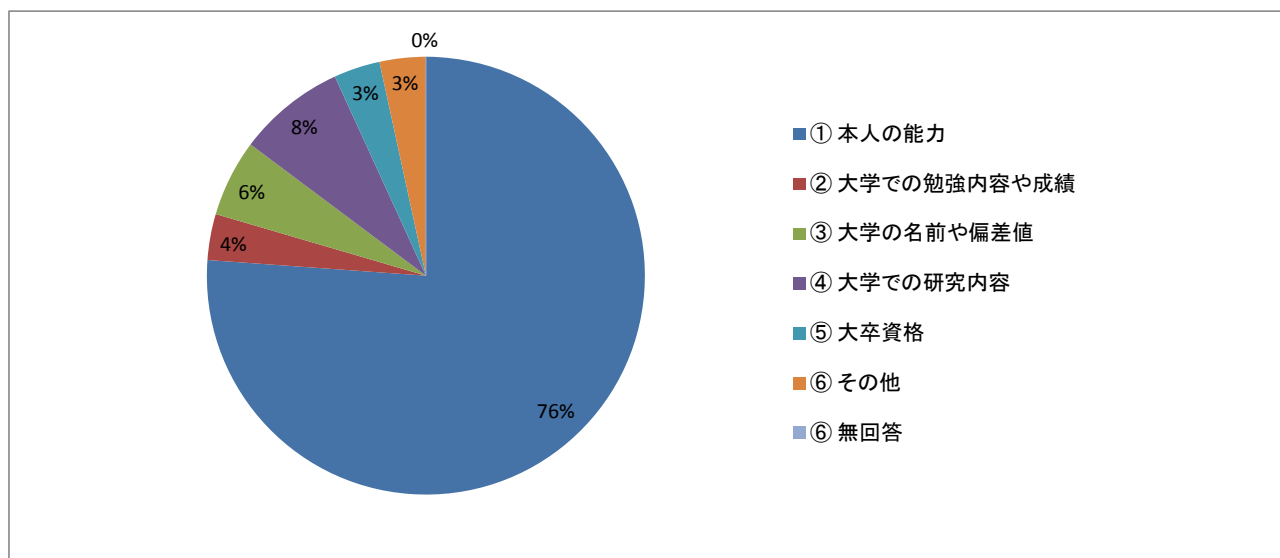


図 11. 問 11 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが就職に何が必要とされていると考えているのかを調べるためのものです。回答の 80%が“①本人の能力”でした。社会で必要とされるのは、大学の名前・偏差値よりも、本人の能力です。ほとんどの方が正しく把握されています。大学の勉強を能力の向上に役立ててもらえればと思います。

12. 就職状況についてお尋ねします。各企業の新卒採用は「量から質へ」と大きく転換し、厳選採用する傾向にある事を知っていますか？

図 12 に問 12 の回答分布を示します。

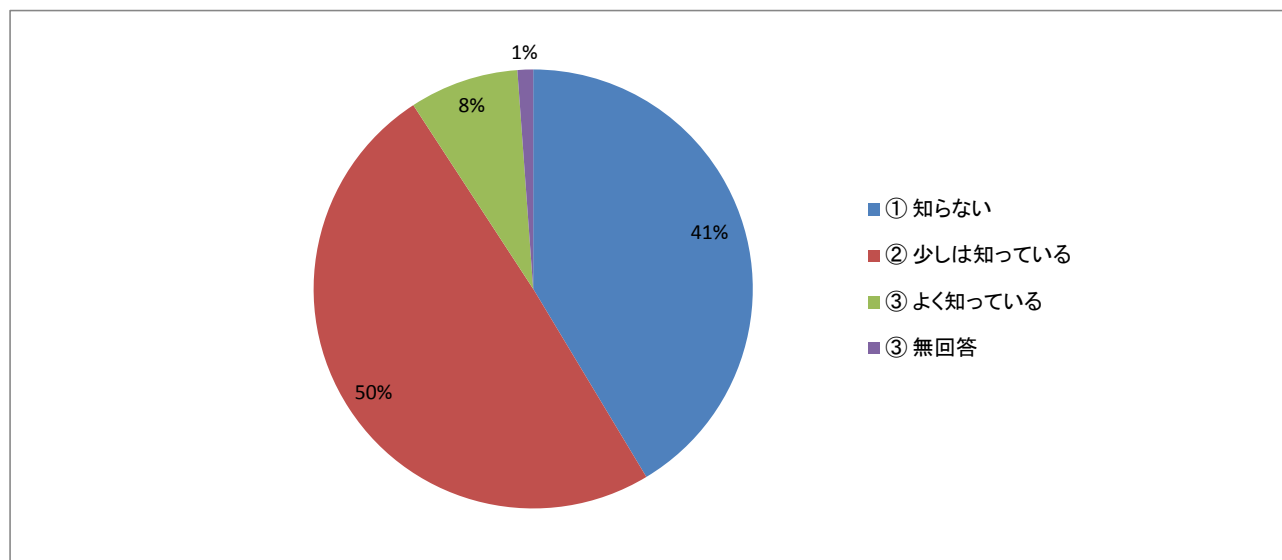


図 12. 問 12 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが就職状況についてどの程度知っているかを調べるためのものです。91%の方が新卒採用の変化を知っていると回答しております。

就職では企業に採用枠があっても、企業側の目に適わなければ内定は出ません。実力のある学生が内定（内々定）を得る“総取り”傾向が強まっています。実力のある学生を早い段階から目を付けておくため、インターンシップ（学生に一定の期間就労経験をさせること）の低学年化も進んでいます。実力の無い学生はもちろん、過剰演出（いわゆる“意識高い系”）の学生も避けられます。本学科では、皆さんのやる気に応える教育設備や支援体制を整えています。存分に活用して、“実力”を養いましょう。

13. 本年度の就職状況について、どの程度意識していますか？

図 13 に問 13 の回答分布を示します。

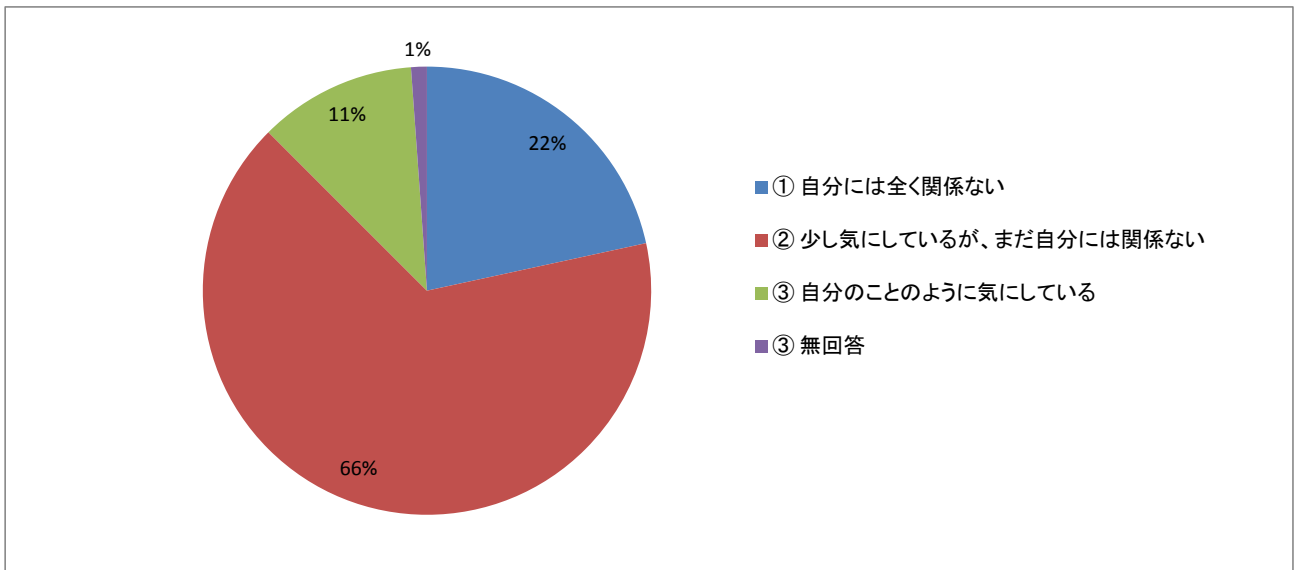


図 13. 問 13 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが就職状況の厳しさについての意識の程度を調べるためのものです。問 12 では厳しいことを 91%の方が知っていると答えていますが、“①自分には全く関係ない” “②少し気にしているが、まだ自分には関係ない” が 88%ありました。ほとんどの方が「就職はまだ先のこと」という認識です。しかしながら、大学生活は長いようで短く、あっという間に就職活動の時期が訪れます。今から意識しておきましょう。

本学には就職活動を応援してくれるキャリアサポートセンターがあります。また、インターンシップなど企業と直接触れ合うことができる機会もあります。是非活用して下さい。

14. アルバイトをしていますか？ している場合は週何日、1日あたりの平均時間を記入して下さい。

図 14(a)にアルバイトの有無の回答分布、図 14(b)にアルバイト日数/週別で集計したアルバイト時間を示します。

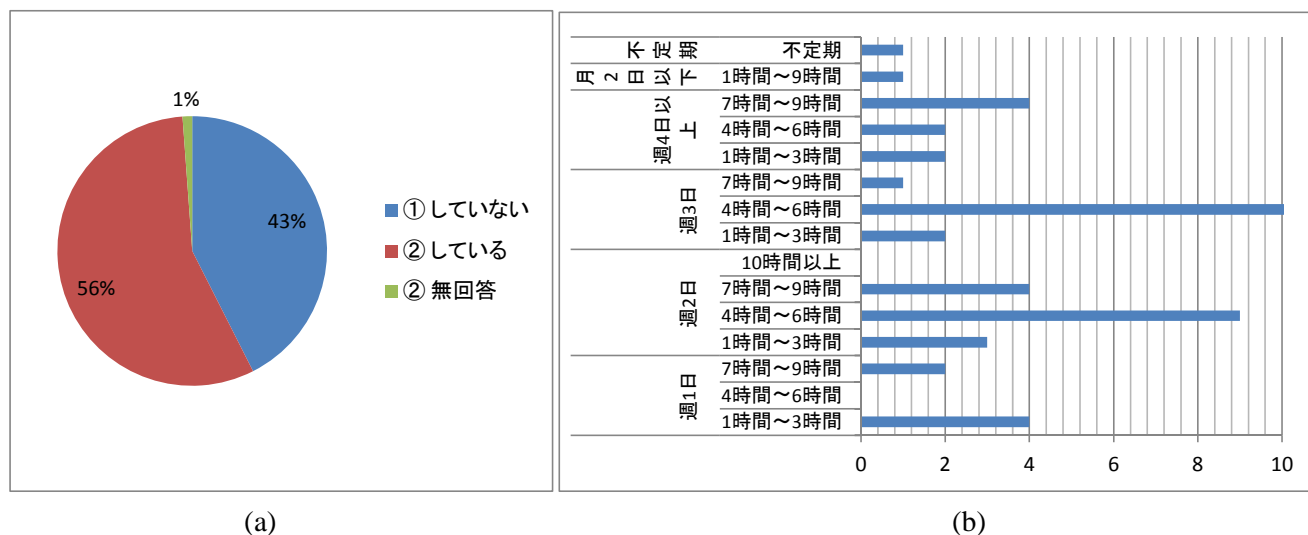


図 14. (a)アルバイトの有無に対する回答分布 および
(b) 週あたりのアルバイト日数別で集計したアルバイト時間分布

この質問は学生の皆さんのアルバイト状況を調べるためのものです。56%の方がアルバイトをしていると回答しており、昨年度より 11%多くなっています。回数と時間について、週 3 日で 1 日あたり 4～6 時間が最も頻度が多いとなっています。また、週 4 日以上の方が昨年度より増えています。この頻度と時間数から考えると、勉強する時間を圧迫しているように見受けられますが、いかがでしょうか？

15. 大学に入学して約4カ月経過しましたが、入学前にあなたが大学に対して持っていたイメージと異なることはありますか。もしあれば教えてください。

下記に、頂いた意見を原文のまま掲載します。

もっと何かを作ると思っていた	1
昼休み40分は短い	1
教育が良いと聞いていたが、ただ単に基礎の高校からやるだけで、大学内容を深めるようなことがなかった。はじめが楽すぎるのは良くない。きつくすることはしなくても内容からもっと学びたいと思える事をやってほしい。	1
どの授業もレベルが高く高校の授業より難しいものだというイメージだったが、講義によっては高校と変わらないものがあった	1
もう少し自由なイメージがあった。実際、遅刻・欠席などは高校と比べてものすごく自由になったと思うがやはりなんとなくイメージと違った	1
放任主義だと思っていたが、教授達が丁寧な指導、解説を学生達に行っていること	1
オタクが多いと思っていた	1
思ったより群れている人が多く、授業中にしゃべり声がうるさいことがたまにある	1
もっと勉強が大変だと思っていました	1
試験というものがありすぎるものだと思っていたけれど、思いのほか沢山あって驚いた	1
もっと性格的に暗い人間が集まっているものだと思っていました	1
高校の復習の内容が多い	3
人数に対して狭い	1
もうちょっと女の子が多いと思いました	1
案外ヤバいやつもいる	1
英語に力を入れているイメージだったがそうでもなかった	1
暇ではない	1
勉強が難しい	1
思っていたより自由な時間が多く感じた	1
自己責任でやるのが思ったよりも多かった	1
女子には居づらい空間	1
もう少し男の人は優しいと思っていた	1
工業大学なのにウェイウェイしている人が多いと感じた	1
思っていたよりも楽しくないし、授業に出ていれば単位は取れると思っていた	1
思っていたより忙しい	2
賑やかな人が多い。コミュニケーションがとりづらい。毎日が楽しくない。課題が多すぎて遊べない。	1
大学の講義において先生から一方的なものだと思っていたが、そうでもなかった	1
自由な時間が全くないこと	1
イメージ通りであった	1
横より縦のつながりの方が作りやすい	1
課題が多い	1
時間が足りない	2
時が経つのが早すぎる	1
忙しい	1
もっと機械や回路を作った実験をやるところだと思っていた	1
休める時間が無い	1
意外と周りが真面目だった	1
もっと休みが多いと思っていた	1
単位を取るのが大変	4
課題やレポートの点数・評価のウェイトが低い。結局テストだけで単位が決まっている	1
教員がイメージと違ってとても教育熱心であること	1

16. 最後に、電子工学科に対する要望などがあつたら記入ください。

下記に、頂いた意見を原文のまま掲載します。

授業内容の質を深めてほしい	1
しゃべっている人を追い出してほしい。もっと厳しくしてもいい。これで優秀な人材が生まれるのか疑問がある。この数ヶ月で、日本が衰退している理由がよくわかった	1
単位をください	4
女子を増やすべき	3
音響関係の授業を増やして欲しい	1
電子工学一般は本当にめんどくさいです	1
専門の授業は1限からではなく2限からにしてほしい	1
4年間豊洲がいい	1
レポート発表のとき、スライドのみでは質問しづらいので、プリントを配るなどしてほしい	1
学科の合宿が欲しいです	1
単位の取得条件と卒業条件が厳しすぎる	1
女子に魅力を伝えて欲しい	1
授業でなくとも自分から興味を持てるような実験をしたい	1
自分で何かを作るような課題が出る授業があつたら勉強に意欲的に取り組めそう	1
電気数学をもう少しわかりやすく教えてほしい(基底科目の人にもわかるように)	1
単位の上限を1単位増やしてほしい	1
学生の勉強バランスをもっとちゃんと認識してほしい。課題やレポートを頑張っても点にならないと皆真剣に取り組まない	1
興味を持てるような面白そうな授業をもっと受けてみたい	1

最後に

これらの他、皆さんから多くの意見を頂きました。学科をより良くするために、参考にさせていただきます。アンケートにご協力いただいた学生の皆さんに感謝します。

(担当：石川博康 ishkw@sic.shibaura-it.ac.jp、加納慎一郎 kanoh@shibaura-it.ac.jp)